

環境に配慮した取組について

団体名：NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター（暮らしの学校いだらぼっち）

- ・薪ストーブ、五右衛門風呂、陶芸を焼く登り窯、とすべて薪を燃料としている。これらの薪の調達、薪割もこどもたちが行う
- ・薪ストーブで出た灰は陶芸の釉薬にする
- ・調理の際に出る野菜くずなどは鶏のエサにし、鶏のフンは小屋に敷いているワラと共に畑の肥料にしている
- ・米作りで最後に残るワラは、「燃やして陶芸の釉薬にする」「鶏小屋の寝藁」「畑の霜、雑草対策」「田んぼの肥料」「正月飾り」などに活用する
- ・生ごみは畑に作った堆肥場でたい肥にする
- ・飼育している鶏に卵を育てたり、有精卵から雛を孵すといった循環も行う
- ・地域の農家の方から米や野菜を売っていただいたり、作りすぎたものをいただくなどしている
- ・エアコンは設置されていない